

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1	選択
担当教員			
中尾 健一郎			

講義概要	①レクリエーションの実践に必要な技術について理解する ②レクリエーションとスポーツとの関係について理解する ③ニュースポーツの体験を通してレクリエーションとしてのスポーツを理解する ④グループでレクリエーションを企画する ⑤企画したレクリエーションを発表し、相互に評価する
授業計画	<p>1 レクリエーション指導者・援助者としての必要な技術について 福祉領域においてレクリエーションを実践するポイントについて学ぶ</p> <p>学習課題 復習：配布資料を参考に福祉用域におけるレクリエーション実践のポイントをまとめる 予習：チャレンジザゲームについて調べる</p> <p>2 目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供① チャレンジ・ザ・ゲーム（ロープジャンプ・キャッチングザスティック・バンブーダンス）</p> <p>学習課題 復習：チャレンジザゲームの理念及び実践方法についてまとめる 予習：ネイチャーゲームの理念及び実践方法を調べる</p> <p>3 目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供② ネイチャーゲームの実践</p> <p>学習課題 復習：ネイチャーゲームの理念及び実践方法についてまとめる 予習：ペタンクの歴史的背景やルールについて調べる</p> <p>4 目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供③ ペタンクの実践</p> <p>学習課題 復習：ペタンクの実践方法についてまとめる 予習：インディアカの歴史的背景とルールについて調べる</p> <p>5 目的に合わせたレクワークと素材・アクティビティの選択・提供④ インディアカの実践</p> <p>学習課題 復習：インディアカの実践方法についてまとめる 予習：コアトレ、ストレッチの方法について調べる</p> <p>6 対象者間の相互作用の活用方法 コアストレッチ&トレーニングの実践</p> <p>学習課題 復習：ストレッチ、コアトレを自宅で実践してみる 予習：スポンジボールテニスのルールについて調べる</p> <p>7 対象に合わせたレクワークとアレンジ法① スポンジボールテニスの実践</p> <p>学習課題 復習：スポンジボールテニスの実践方法についてまとめる 予習：ソフトバレーボールの歴史的背景とルールについて調べる</p> <p>8 対象に合わせたレクワークとアレンジ法② ソフトバレーボールの実践</p> <p>学習課題 復習：ソフトバレーボールの実践方法についてまとめる 予習：ティボールの歴史的背景やルールについて調べる</p> <p>9 対象に合わせたレクワークとアレンジ法③ ティーボールの実践</p> <p>学習課題 復習：ティーボールの実践方法についてまとめる 予習：アルティメットの歴史的背景とルールについて調べる</p> <p>10 対象に合わせたレクワークとアレンジ法④ アルティメットの実践</p> <p>学習課題 復習：アルティメットの実践方法についてまとめる 予習：フットサルの歴史的背景とルールについて調べる</p> <p>11 対象に合わせたレクワークとアレンジ法⑤ フットサルの実践</p> <p>学習課題 復習：フットサルの実践方法についてまとめる 予習：ボルダリングの歴史的背景と実践方法についてまとめる</p> <p>12 対象に合わせたレクワークとアレンジ法⑥ ボルダリングの実践</p> <p>学習課題 復習：ボルダリングの実践方法についてまとめる 予習：グループで行うレクリエーションプランを考える</p>

	<p>1 3 レクリエーションプログラムの企画 グループでのレクリエーションプログラムを作成する</p> <p>学習課題 復習：計画したレクリエーションプログラムについて役割を確認しておく 予習：レクリエーションプログラムの評価の視点について調べる</p> <p>1 4 レクリエーションプログラムの実践① グループで企画したレクリエーションプログラムを発表する（前半グループ）</p> <p>学習課題 復習：前半グループは発表内容を振り返り、後半グループは計画したレクリエーションプログラムについて役割を確認しておく 予習：レクリエーションプログラムの評価の視点について調べる</p> <p>1 5 レクリエーションプログラムの実践② グループで企画したレクリエーションプログラムを発表する</p> <p>学習課題 復習：グループは発表内容を振り返り、改善点をまとめる</p> <p>1 5</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①福祉領域においてレクリエーションのありかたについて説明できるようになる ②レクリエーション活動のポイントについて説明できるようになる ③ニュースポーツについて説明できるようになる ④レクリエーションプログラムの企画する際の留意点について説明できるようになる ⑤レクリエーション活動を評価するポイントについて説明できるようになる</p> <p>授業に取り組む姿勢（20%） レクリエーションプログラム発表の評価（30%） 期末レポート（50%）</p>
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布する 参考書：高齢者のためのかんたん・楽しいレクリエーション 生活介護研究所 ナツメ社
履修条件	
履修上の注意	実技の際は装飾品ははずし運動ができる服装を準備すること（場所は体育館）
オフィスアワー	毎回の授業前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	